

**事務事業評価シート**  
(根室市新型コロナウイルス関連緊急経済対策展開計画事業)

主管課名(担当名)	保健課(健康推進担当)	事業年度	R2
事務事業名	感染症対策予防接種推進事業	事業番号	12888

**1 施策体系(市新型コロナウイルス関連緊急経済対策展開計画)**

施策体系との関連	施策区分	感染拡大防止/フェーズ1
	施策目的	1.保健・医療・福祉提供体制の整備等

**2 事務事業の概要と目的**

対象 (交付対象者や対象施設など)	生後6ヵ月以上65歳未満の根室市民		
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	新型コロナウイルス感染症の収束が未だ見えない中、症状の類似する季節性インフルエンザの同時流行を最小限にとどめ、医療従事者の負担を軽減することを目的に、インフルエンザ予防接種に係る費用を一部助成する。 【助成金額】 予防接種1回につき2,000円を助成 【助成対象】 生後6ヵ月以上65歳未満の市民(約16,500人) ※0歳から12歳: 2,119人(2回接種)、13歳から64歳: 14,330人(1回接種) 【助成機関】 市内医療機関		
意図 (取組みに当たって期待される成果など)	市民の季節性インフルエンザによる重篤化を低減させると同時に、新型コロナウイルス感染症の危険と隣り合わせで働く医療従事者の負担軽減を図る。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input checked="" type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他		
事業費(単位:千円)	予算額	決算額	説明 ・予防接種委託料: 15,004,000円 ・折込チラシなど: 185,376円 財源: ふるさと応援・新型コロナウイルス感染症対策基金
	30,244千円	15,190千円	
内訳	国道支出金		
	その他特定財源	30,244千円	15,190千円
	一般財源		

**3 事務事業の効果検証・評価等**

	指標名	目標値	実績値
ア. 活動指標	インフルエンザ予防接種ワクチン接種回数	14,900回	7,502回(3月末現在)
イ. 検証手段・方法	<input type="checkbox"/> アンケート調査 <input type="checkbox"/> 実地調査 <input checked="" type="checkbox"/> 検証予定 <input type="checkbox"/> その他( ) 各医療機関からの請求により接種回数を把握する。また、北海道感染症情報センター公表のインフルエンザ定点感染者数を過去と比較し、効果を検証する。		
ウ. 評価 (意図する成果に有効に結びついたか、経済への波及効果など)	■結びついている <input type="checkbox"/> 一部結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない 本事業の実施により、3月末現在の予防接種率は例年に比べ大きく向上しているところであり、流行期を迎えている中、管内の市中感染数は全減している。		
エ. 課題 (取組みにおける課題・問題点、原因の分析など)	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 一部ある <input type="checkbox"/> ない 全国的な需要の増加により、インフルエンザワクチンの供給量が少なく、医療機関によっては1月末現在で予防接種ワクチンの在庫が無くなった市内医療機関もあった。		

**4 事務事業の今後の方向性**

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続 <input checked="" type="checkbox"/> 完了(令和3年3月)
	引き続き、市内におけるインフルエンザ及び新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の推進を図って参りたい。

作成年月日

令和3年5月

事務事業評価シート  
(根室市新型コロナウイルス関連緊急経済対策展開計画事業)

主管課名(担当名)	保健課(健康推進担当)	事業年度	R3
事務事業名	感染症拡大防止対策事業(保健課)	事業番号	12871

1 施策体系(市新型コロナウイルス関連緊急経済対策展開計画)

施策体系との関連	施策区分	感染拡大防止/フェーズ1
	施策目的	1.保健・医療・福祉提供体制の整備等

2 事務事業の概要と目的

対象 (交付対象者や対象施設など)	市内の医療施設等、薬局、介護福祉施設、学校教育機関等、児童館、放課後児童教室、幼児教育・保育施設の従事者、及び清掃、調理等の業務受託者		
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	対象従事者等が、出勤後に発熱や風邪等の症状がある時、従事者の地方への出張後や、地方の来客対応時等に、短時間で検査結果を得ることで、施設での集団感染を未然に防止する。 【事業概要】・各施設に抗原定性検査キットを配布し、従事者が有症状時、不安等を感じた時に実施。 【対象者】・医療関係15施設、薬局9施設、介護施設11施設、福祉6施設、学校12施設、児童会館等6施設、幼児教育・保育13施設。		
意図 (取組みに当たって期待される成果など)	医療施設、学校施設等において、従事者が早期に検査結果を行える環境を整えることにより、集団感染を未然に防止するとともに、従事者が安心して働ける環境整備と同時に、市民誰もが利用する医療機関等において、安心できる環境づくりを目的とする。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他		
事業費(単位:千円)	予算額	決算額	説明 配布数 : 感染の可能性がある方 276個 施設等 5,870個 ※残数については、令和4年度継続して使用する 財源 : ふるさと応援・新型コロナウイルス感染症対策基金 一般財源
	32,385千円	32,277千円	
内訳	国道支出金		
	その他特定財源	4,675千円	4,675千円
	一般財源	27,710千円	27,602千円

3 事務事業の効果検証・評価等

	指標名	目標値	実績値
ア. 活動指標	抗原定性検査キット配布数	10,000回分	6,146回分
イ. 検証手段・方法	<input type="checkbox"/> アンケート調査 <input checked="" type="checkbox"/> 実地調査 <input type="checkbox"/> 検証予定 <input type="checkbox"/> その他( ) 市内の医療・介護・福祉・保育施設等に対し市が配布した抗原定性検査キットにより、従事者等自身で検査を行い、キット使用報告を毎月いただくことで、使用状況を確認する。		
ウ. 評価 (意図する成果に有効に結びついたか、経済への波及効果など)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 一部結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない 市内の医療・介護・福祉・保育等の現場で働く従事者は、自身が感染する、感染の媒介者になるかも知れないという不安の中、抗原定性検査キットを活用することにより、施設内における集団感染の未然防止とともに、従事する方が高い危機意識を保ちつつ、安心して働ける環境づくりに結び付けている。		
	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
エ. 課題 (取組みにおける課題・問題点、原因の分析など)	市内の医療機関や介護施設などの職員を対象に抗原定性検査キットの使用説明会を実施するなど、スムーズな事業実施に努めている。		

4 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続 <input type="checkbox"/> 完了(令和 年 月 )		
	引き続き、医療従事者等が安心して働ける環境整備に努め、市内における新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の推進を図って参りたい。		

作成年月日

令和4年10月

事務事業評価シート  
(根室市新型コロナウイルス関連緊急経済対策展開計画事業)

主管課名(担当名)	保健課(健康推進担当)	事業年度	R4
事務事業名	感染症拡大防止対策事業(保健課)	事業番号	12871

1 施策体系(市新型コロナウイルス関連緊急経済対策展開計画)

施策体系との関連	施策区分	感染拡大防止/フェーズ1
	施策目的	1.保健・医療・福祉提供体制の整備等

2 事務事業の概要と目的

対象 (交付対象者や対象施設など)	市内の医療施設等、薬局、介護福祉施設、学校教育機関、児童館、放課後児童教室、幼児教育・保育施設の従事者、及び清掃、調理等の業務受託者		
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	【事業概要】・各施設に抗原定性検査キットを配布し、出勤後に発熱や風邪等の症状がある時や、従事者の地方への出張後及び、地方の来客対応時等に抗原検査を行い、短時間で検査結果を得ることで、施設での集団感染を未然に防止する。 【対象者】・医療関係14施設、薬局8施設、介護施設11施設、福祉6施設、学校12施設、児童会館等7施設、幼児教育・保育13施設。		
意図 (取組みに当たって期待される成果など)	医療施設、学校施設等において、従事者が早期に検査結果を行える環境を整えることにより、集団感染を未然に防止するとともに、従事する方が、高い危機意識を保ちつつ、安心して働ける環境を維持することを目的とする。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他		
事業費(単位:千円)	予算額	決算額	説明 検査キット: @979 × 9,550回分 = 9,349,450円 補正: @979 × 40,000回分 = 39,160,000円
	48,510千円	48,509千円	
内訳	国道支出金	9,350千円	財源: 地方創生臨時交付金 一般財源 R3繰越 24,079回 総在庫数 73,629回
	その他特定財源		
	一般財源	39,160千円	

	指標名	目標値	実績値
ア. 活動指標	抗原定性検査キット配布数	50,000回分	50,337回分 (令和5年3月末現在)
イ. 検証手段・方法	<input type="checkbox"/> アンケート調査 <input checked="" type="checkbox"/> 実地調査 <input type="checkbox"/> 検証予定 <input type="checkbox"/> その他( )		
	市内の医療・介護・福祉・保育施設等に対し市が配布した抗原定性検査キットにより、従事者等自身で検査を行い、キット使用報告を毎月いただくことで、使用状況を確認する。		
ウ. 評価 (意図する成果に有効に結びついたか(結びつくか)、経済への波及効果など)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 一部結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない		
	市内の医療・介護・福祉・保育等の現場で働く従事者は、自身が感染する、感染の媒介者になるかも知れないという不安の中、抗原定性検査キットを活用することにより、施設内における集団感染の未然防止とともに、従事する方が高い危機意識を保ちつつ、安心して働ける環境づくりに結び付けている。		
エ. 課題 (取組みにあたり課題・問題点、原因の分析など)	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	市内の医療機関や介護施設などの職員を対象に抗原定性検査キットの使用説明会を実施するなど、スムーズな事業実施に努めている。		

4 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続 <input type="checkbox"/> 完了(令和 年 月 )		
	引き続き、医療従事者等が安心して働ける環境整備に努め、市内における新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の推進を図って参りたい。		

作成年月日

令和5年8月